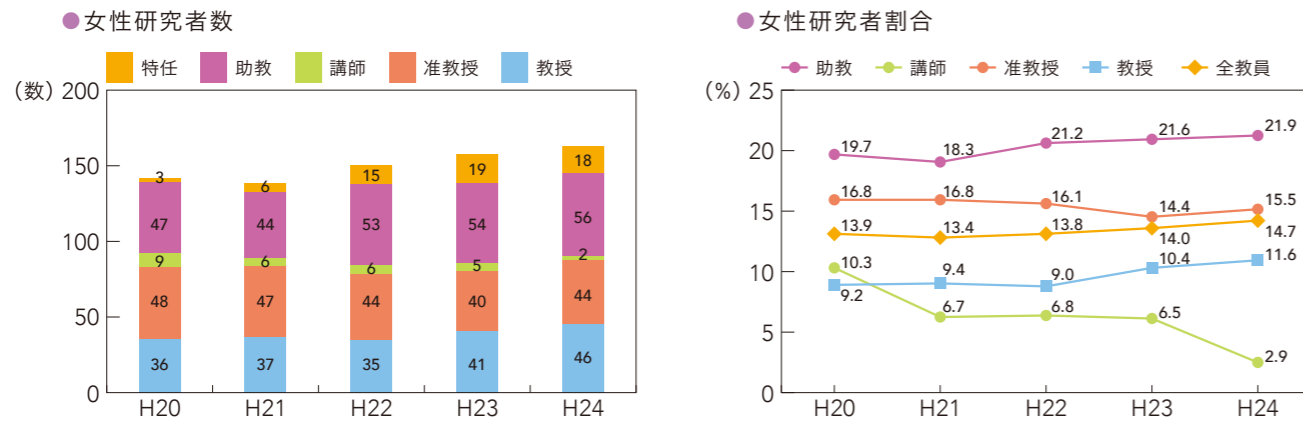
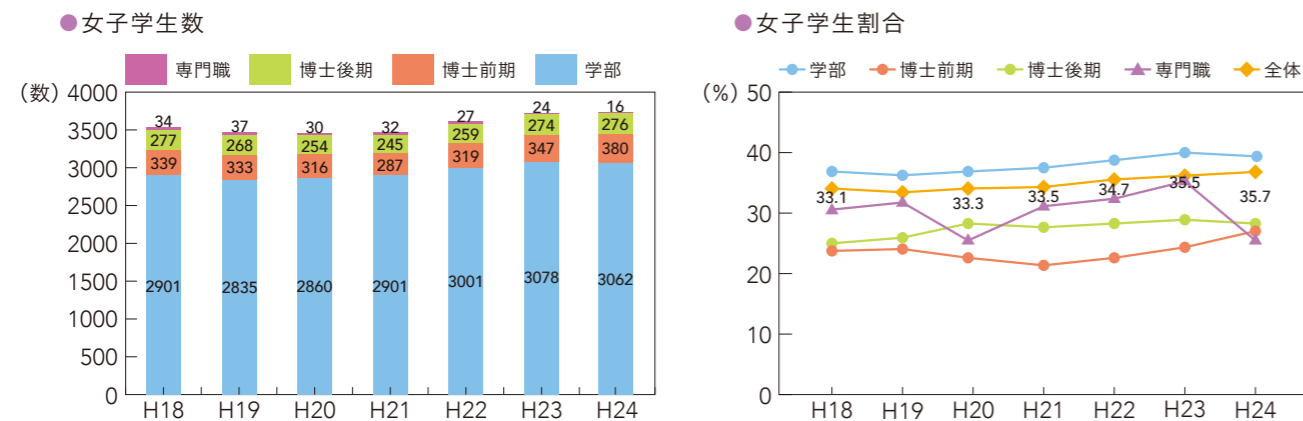


● 本学の女性教員数と比率の推移



● 本学の女子学生数と比率の推移



● ラボラトリー教員

ラボラトリー長	池本 良子 / 理工研究域環境デザイン学系教授	
副ラボラトリー長	坂本 二郎 / 理工研究域機械工学系教授	長谷部 徳子 / 環日本海域環境研究センター准教授
ラボラトリー教員	八重澤 美知子 / 留学生センター教授	古畑 徹 / 人間社会研究域歴史言語文化学系教授
	笠原 禎也 / 総合メディア基盤センター教授	稲垣 美智子 / 医薬保健研究域保健学系教授
	中村 浩二 / 環日本海域環境研究センター教授	平山 奈央子 / キャリアデザインラボラトリー 特任助教



男女共同参画キャリアデザインラボラトリー 平成24年度事業報告書

2012

やる気に応えます
金沢大学女性研究者支援



金沢大学 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

〒920-1192 金沢市角間町 Tel:076-234-6907 Fax:076-234-6908

E-mail:cd_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp URL:http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp

Career Design Laboratory for Gender Equality

やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援

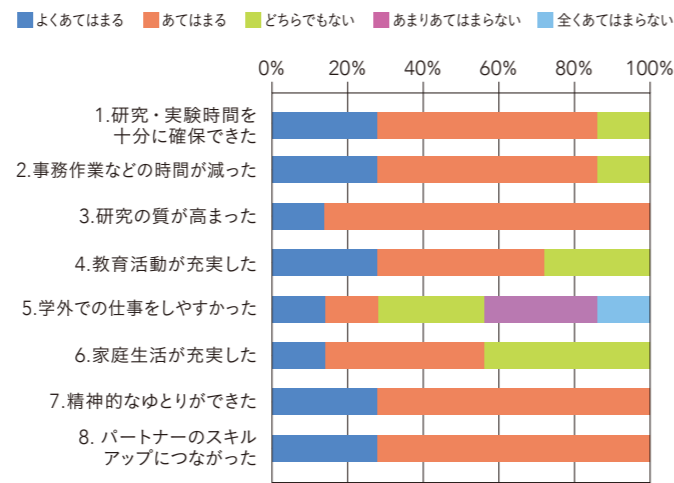
女性が活躍できる男女共同参画社会を目指し、研究環境の整備や女性研究者の育成などの事業を積極的に展開しています。

研究パートナー制度による教員とパートナーの支援

研究パートナー制度では、研究と出産・育児、介護等を両立して研究活動を行う研究者の研究補助をする「研究パートナー」を派遣しています。この制度では、研究パートナーを研究員として雇用し、パートナー自身のキャリアアップも目指しています。また、女性教員だけではなく、過去に育児休業を取得したことのある男性教員も申請対象としており、育児や介護を家庭内で分担することもすすめています。

本制度では、採用審査や報告において、制度利用者の研究実績を重視しています。

● 研究パートナー制度に対するアンケート回答結果



【2012年度の実績】

前期	制度利用者7名、研究パートナー7名
後期	制度利用者9名、研究パートナー9名

学会期間中の託児室設置に関する支援

2012年9月10・11・12日に金沢大学で開催された「日本機械学会 2012年度年次大会」の託児室の設置について、金沢市の担当課をご紹介するなどの支援を実施しました。



託児室の様子

若手女性研究者支援による雇用

若手女性研究者支援では、学位を取得し研究費を獲得している優秀な若手女性研究者を有給非常勤研究員として雇用しています。その結果、女性研究者が将来、研究者として職を得るためのステップアップとして有効に活用されることをめざしています。

【2012年度の実績】

前期	0名	後期	1名
----	----	----	----

2012年度後期に採用された馬妍さん（自然科学研究科研究協力員）は来年度から「中国科学院地理科学・資源研究所」において助手研究員として採用されることが決定しました。



馬妍さん

研究費獲得に関する情報提供

「未来を強くする子育てプロジェクト」など女性研究者を対象とする助成金に関する情報をWIL便りにて配信しました。

女性研究者ワークショップを開催

理学系から長谷部 徳子先生(環日本海域環境研究センター)、工学系から若子倫菜先生(理工研究域機械工学系)、薬学系から石崎 純子先生(医薬保健研究域薬学系)に研究紹介をいただきました。長谷部先生からはモンゴルや中国など、世界を飛び回って環境調査をされていることと合わせて女性研究者の魅力について、若子先生からはパンティストッキングを題材とした感性工学の調査研究について、石崎先生からは臨床現場の薬の投与に関する疑問に答える「育薬」研究など、自身の関心事や疑問を突き詰めている大変魅力的なお話をいただきました。異分野の研究交流によって、新たな視点の発見、連携研究の推進を目指しています。



研究紹介の様子

出産・育児・介護に多忙な研究者の研究支援

子育て中の研究者が研究を中断することがないようにサポートすることができました。

Activity 1

Activity 2

本学女性研究者の育成

優秀な若手女性研究者のキャリアアップのための支援や、学内の異分野の女性研究者による研究交流会を実施することができました。

次世代女性研究者の育成

本学女子学生には、講義において男女共同参画に関して考える場を提供し、女子中高生には、特に女性研究者が少ない理工系分野について魅力を伝えることができました。

Activity 3

Activity 4

男女共同参画を目指した環境整備と広報啓発

女性が活躍するための仕組み(金沢大学人材バンク)の整備や男女共同参画に関する広報啓発、教職員の意識を把握するためのアンケートを実施することができました。

自然科学系的女性研究者による研究紹介写真展の開催

ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー(ポスター展来場者1,077名)、自然科学本館G2階エントランス、金沢大学付属図書館ギャラリーαなどで写真展「Beauty in Science, Technology and Engineering」を開催しました。



最も人気を集めたポスター



講演の様子



進路相談窓口の設置



講義の様子

中学生・高校生を対象とした出前授業

福井県ユニー・アイふくい男女共同参画推進課の事業「ゆー・あいカレッジ 女性のチャレンジ支援コース 科学・技術者への招待セミナー(2012年12月11日)」で講演を行いました(対象:福井県北陸高校の学生412名)。

女子学生のための進路選択支援

ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー開催期間中に女子中高生の大学進路選択に関する相談窓口を設置しました。また、地盤工学会北陸支部の主催による「女子学生のための就職懇談会(2013年1月22日)」で本学理工系の女子学生に対して情報提供を行いました。

ジェンダー学関連講義の開講

女子学生交流会への協力

交流会では「これからのキャリアデザインのために大学あるいは大学院に期待する支援とは?」をテーマにグループワークを行いました。参加者からは「他学類、他学科の女子学生の考え方や就活などに関する話が聞けてよかった」「先輩との交流をととして刺激を受けた」などの感想を得られました。

金沢大学人材バンクの運用

金沢大学人材バンクは、育児や介護などによって研究時間を制限されやすい研究者に対する環境整備の一環として運用されています。「子育てなどで一時的に仕事から離れたけれども、これまでの経験を活かして働きたい」「新たな分野で活躍したい」という女性」と「人材を探している人」をマッチングするためのシステムです。

興味をお持ちの方は下記URLから登録をお願いします。

https://cd_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp/TalentBankPC/Top/



人材バンクのイメージ

教職員の意識醸成のためのシンポジウム開催

11月16日、金沢大学自然科学図書館棟G15会議室において第5回金沢大学女性研究者支援シンポジウムを開催しました。今年は、「仕事から学びへ、広がるキャリアデザイン」を副題とし、中央大学文学部の山田昌弘先生に「男女共同参画は日本の希望」についてお話いただきました。

男女共同参画に関する教職員の認識や現状を把握するためアンケートを実施

WILcafe(女性交流会)を開催(1回/1ヶ月)

毎週第4水曜日の12:00~お昼を食べながら、ジェンダーをテーマとするビデオの鑑賞や情報交換をしています。

WIL便りの配信(1回/2ヶ月)

ジェンダーに関する図書貸し出し

ホームページにて情報発信